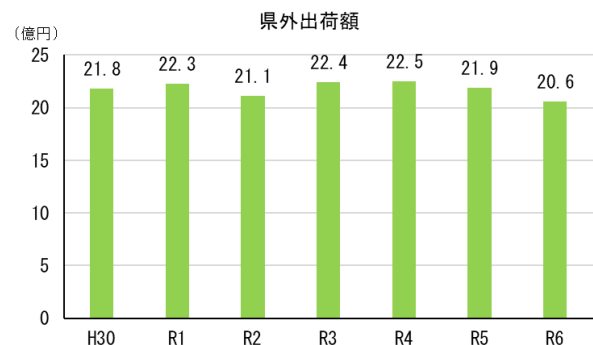
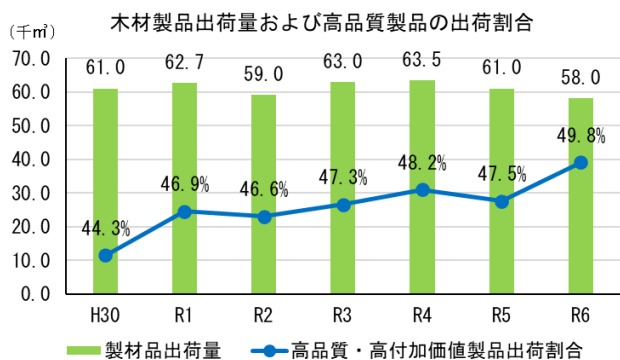


「高品質・高付加価値木材製品の出荷拡大」の進捗状況

林業課

○令和6年度末の進捗状況

- (1) 木材製品の出荷量は 61.0 千 m^3 (H30) から減の 58.0 千 m^3 (前年度比 5 %減)
県外出荷額も 21.9 億円 (H30) から 20.6 億円へと減。
高品質・高付加価値製品の出荷割合は 44.3% (H30) から 49.8%へ増加した。
- (2) 県産木材を積極的に使用する工務店 138 社、建築士 220 人を認定



○主な取り組み

- (1) R2年8月から大阪市で常設展示を実施 (県内製材工場等 13 社)
- (2) Wood Collection (モクコレ) 2024Plus に出展



令和6年12月19～20日に東京ビッグサイト (東京都) において、県外出荷に取り組む県内製材工場6社が、展示商談会に参加。全国の工務店やメーカーから約150名の来場があった。

令和2年度から取り組んでいる常設展示をきっかけに県外企業との契約や新商品開発も複数成立してきており、新たな販路開拓手法として成果を上げている。

- (3) 木材製品の高品質・高付加価値化に向け施設整備を4工場で実施
- (4) 地域内の連携による木材利用に向け、建築士・工務店等を対象に認定講習会 (応用編) を実施 (受講者 40 名)